

第4話

週刊

タバコの正体

皆さんの多くは、こんな警告文を初めて目にすると思います。でも、本館3階の男子トイレに掲示しているの、見たことがある生徒もいるはずですよ。

文面のとおり、この日2階から6階の全フロアにタバコのおいが漂いました。皆さんのほとんどは、「一生、タバコは吸わない」つもりですし、半分以上は「タバコを吸うのは、かっこ悪い」と思っているのに、トイレで隠れてでもタバコを吸わなければならない生徒がいる事は残念かつ悲しい現実です。

警告

昨日（6月29日）午後

ここでタバコを吸った者がいます。誰であるか特定できませんが、あたり一面にタバコのニオイが立ち込めました。ものすごく不快です。

君たち生徒の喫煙は、法律違反です。

そんな事はわかっていながらこっそり隠れて吸う君たちの行動は、大勢の生徒が生活する学校では、多大な迷惑行為として許せません。

タバコを我慢できないのなら、病院で治療してもらいなさい。

学校長 西脇 英雅

一旦ニコチン依存症になると、簡単に禁煙できないことは、繰り返し伝えてきました。だからこの生徒達もニコチン切れを我慢できずに、どこかでタバコを吸わなければ生活できなくなっているのでしょう。この警告は1学期に掲示したのですが、2学期に入っても喫煙はなくなるどころか頻度が増えているようです。

高校生の今からタバコがなければ生活できない人生を歩み続けるのは、とてもかわいそうです。そして人目を避けてコソコソと隠れて吸い続ける姿も、とてもかわいそうです。

なんとか、今のうちに禁煙させてあげたいと強く感じています。禁煙できれば本人の人生には大きなプラスになるはず、それに全校生徒にとっても快適な学校生活が実現できるはずですよ。